

京葉少年野球第39回春季大会 兼第37回くりくり千葉地区予選開会

86チームが元気に行進



大会始球式はいなげパイレーツの「山表ファミリー」で行われた

京葉少年野球連盟の第39回春季大会兼第37回くりくり少年野球選手権大会千葉地区予選開会式が4月11日、千葉市美浜区のQVCマリノアイールドで行われ、あいにくの雨模様の中、参加57チーム・Bゾーン39チームの選手たちが地元の名立橋辺高校吹奏楽部の演奏に合わせて元気いっぱい入場行進した。

大会委員長、連盟会長、来賓などによるあいさつのあと、昨年春季大会Aゾーン優勝の打頼ベイスターズ、Bゾーン優勝の新浦安ドリームスターから優勝旗が返還され、選手宣誓は上志津フェニックスの花鳥航大主将が行った。

選手、指導者、父母らが見守るなか、始球式はいなげパイレーツの山表大起投手（小中台南小6年）と父親秀明さんが捕手、母親真弓さんが打者になって行われ、投げた球もストライクとなり会場から大きな拍手が送られた。

Aゾーンの優勝チームは7月27日から4日間、埼玉県所沢市の西武プリンスドーム球場で開催される「くりくり少年軟式野球選手権大会」に千葉地区代表として出場する」となっている。